

令和5年4月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和4年12月15日

上場会社名 株式会社軽自動車館

上場取引所 東

コード番号 7680

URL <https://www.keijidousyakan.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 章一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 三上 裕史

(TEL) (011) 200-0312

中間発行者情報提出予定日 令和5年1月31日 配当支払開始予定日 —

中間決算補足説明資料作成の有無 : 無

中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年4月期中間期の業績 (令和4年5月1日～令和4年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和5年4月期中間期	1,944	22.8	25	—	23	—	11	—
令和4年4月期中間期	1,583	9.5	△0	—	△1	—	△1	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
令和5年4月期中間期	228 .99	—
令和4年4月期中間期	△34 .79	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
令和5年4月期中間期	1,390	211	15.2
令和4年4月期	1,350	199	14.8

(参考) 自己資本 令和5年4月期中間期 211百万円 令和4年4月期 199百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
令和4年4月期	0.00	0.00	0.00
令和5年4月期	0.00		
令和5年4月期(予想)		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和5年4月期の業績予想 (令和4年5月1日～令和5年4月30日)

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,538	5.7	20	△8.4	15	△23.8	7	△33.9	154.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	令和5年4月期中間期	51,600株	令和4年4月期	51,600株
② 期末自己株式数	令和5年4月期中間期	一株	令和4年4月期	一株
③ 期中平均株式数 (中間期)	令和5年4月期中間期	51,600株	令和4年4月期中間期	51,600株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に緩和され、経済活動の正常化が進み、緩やかな持ち直しの動きがあるものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大、原材料・原油価格等の高騰、急激な円安の影響に伴う物価の上昇が続いており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社が属する軽自動車販売業界におきましては、新車の販売台数は前年から引き続き半導体不足等が要因で減少している状況でしたが9月以降は回復傾向にあり、最終的には前年をわずかに上回る結果となりました。一方で中古車の販売台数は新車の減産により下取車の供給台数が減少し続けており中古車が品不足となっている状況が続いていること等の影響から前年実績を下回る状況となりました。

当社におきましては、道東地域の3店舗が営業力強化により前年の販売台数を大きく上回りました。それに伴い全体でも販売台数が前年実績を上回ったことに加え、販売価格の見直し等により台当たり販売価格が前年の水準を上回ったため、売上高及び売上総利益は前年を上回る結果となりました。

費用面では、令和4年3月の新規出店に伴い賃借料が増加したほか、定期昇給や新規出店での人員増による人件費の増加、さらに原油価格の高騰等により水道光熱費が増加していることなどにより、前年同期に比べて販売費及び一般管理費合計は37,171千円増加いたしました。

また、いわみざわ店の営業を終了し新さっぽろ店と統合したことに伴い特別損失計6,719千円を計上いたしました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は1,944,095千円（前年同期比22.8%増）、営業利益は25,185千円（前年同期は営業損失876千円）、経常利益は23,192千円（前年同期は経常損失1,364千円）、中間純利益は11,816千円（前年同期は中間純損失1,795千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ39,524千円増加し、1,390,052千円となりました。これは、主に商品が66,802千円増加した一方で、売掛金が32,685千円減少したこと等によるものです。

(負債)

当中間会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ27,708千円増加し、1,178,403千円となりました。これは、主に短期借入金が58,750千円、前受金が20,133千円増加した一方で、買掛金が27,698千円、長期借入金が33,474千円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ11,816千円増加し、211,648千円となりました。これは、中間純利益の計上により利益剰余金が11,816千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、令和4年6月14日付「令和4年4月期 決算短信」において公表いたしました令和5年4月期通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和4年4月30日)	当中間会計期間 (令和4年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,953	57,564
売掛金	89,992	57,306
商品	793,091	859,894
貯蔵品	358	286
前払費用	18,943	20,988
その他	19,424	18,330
流動資産合計	971,762	1,014,371
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	113,015	108,753
土地	120,761	120,761
その他（純額）	71,308	71,305
有形固定資産合計	305,085	300,819
無形固定資産	2,097	1,870
投資その他の資産	71,582	72,991
固定資産合計	378,765	375,681
資産合計	1,350,527	1,390,052

(単位：千円)

	前事業年度 (令和4年4月30日)	当中間会計期間 (令和4年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	110,255	82,557
短期借入金	370,000	428,750
一年内返済予定の長期借入金	60,764	65,278
リース債務	7,235	7,814
未払費用	37,215	34,486
未払法人税等	987	6,454
前受金	33,636	53,769
賞与引当金	16,475	18,966
その他	26,162	24,811
流動負債合計	662,732	722,888
固定負債		
社債	130,000	130,000
長期借入金	315,717	282,243
リース債務	13,281	12,884
退職給付引当金	13,174	14,553
資産除去債務	12,919	12,965
その他	2,870	2,870
固定負債合計	487,962	455,515
負債合計	1,150,694	1,178,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,012	44,012
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	155,820	167,636
利益剰余金合計	155,820	167,636
株主資本合計	199,832	211,648
純資産合計	199,832	211,648
負債純資産合計	1,350,527	1,390,052

(2) 中間損益計算書

	(単位：千円)	
	前中間会計期間 (自 令和3年5月1日 至 令和3年10月31日)	当中間会計期間 (自 令和4年5月1日 至 令和4年10月31日)
売上高	1,583,335	1,944,095
売上原価	1,238,531	1,536,058
売上総利益	344,803	408,037
販売費及び一般管理費	345,680	382,851
営業利益又は営業損失(△)	△876	25,185
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
保険料等還付金	3,239	3,148
助成金収入	400	389
補助金収入	1,529	—
その他	758	353
営業外収益合計	5,927	3,893
営業外費用		
支払利息	4,193	4,838
社債利息	173	260
社債発行費	1,004	—
支払保証料	723	785
その他	320	0
営業外費用合計	6,415	5,885
経常利益又は経常損失(△)	△1,364	23,192
特別損失		
固定資産除却損	—	3,824
店舗整理損失	—	2,895
特別損失合計	—	6,719
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	△1,364	16,473
法人税、住民税及び事業税	897	6,454
法人税等調整額	△466	△1,796
法人税等合計	430	4,657
中間純利益又は中間純損失(△)	△1,795	11,816

(3) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。